



平成 27 年 6 月 1 日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ  
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志  
( J A S D A Q ・ コード 3 8 0 7 )  
問 い 合 わ せ 先 :  
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之  
電 話 番 号 0 3 ( 5 7 7 4 ) 2 4 4 0 ( 代 表 )

## 連結子会社である株式会社ネクスグループと株式会社 SJI との 資本業務提携契約の締結による子会社化等に関するお知らせ

連結子会社である株式会社ネクスグループ（東証 JASDAQ コード番号 6634、以下「ネクス G」といいます。）は本日開催の取締役会において、株式会社 SJI（東証 JASDAQ コード番号 2315、以下「SJI」といいます。）と資本業務提携契約書（以下「本資本業務提携契約書」といいます。）を締結することと、SJI が第三者割当により発行する普通株式（デット・エクイティ・スワップを含む）並びに新株予約権を引き受けし、SJI を子会社化することを決議いたしましたのでお知らせいたします。なお、本第三者割当増資は、平成 27 年 6 月 29 日開催予定の株式会社 SJI 定時株主総会において承認されることを条件としております。

### 記

#### 1. 本資本業務提携の目的等

当社グループの中核となるデバイス事業（ネクスG及びその子会社）がターゲットとする情報通信市場におきましては、M2M分野の急速な市場拡大が見込まれております。このような事業環境において、子会社である、高付加価値の通信機器デバイスを製造する株式会社ネクスと、同じく子会社で、2013年12月11日付け適時開示「株式会社SJIと当社子会社との吸収分割契約締結に関するお知らせ」のとおり、SJIが営む中部事業部、関西事業部及び九州事業部におけるシステム開発事業を吸収分割により承継した株式会社ネクス・ソリューションズ（以下「ネクス・ソリューションズ」といいます。）によって、デバイス製品のハードの提供だけに留まらず、サーバーアプリケーションや、その他のアプリケーションサービスなどのM2Mソリューションサービスを提供することで、成長を続けるM2M市場に対してバリューチェーンの垂直統合を進め①ワンストップサービスによるメリット提供、②バリューチェーン全体での利益の最大化を目指しております。

一方で、SJIは日本国内の金融機関・情報通信業・製造業・流通業・システム開発業等の企業、中国の日本企業現地法人や金融機関・情報通信業等の企業に対するシステム開発事業と、日本及び中国国内の法人顧客に対するソフトウェアパッケージ製品の販売およびメンテナンス・サポートを行うソフトウェア製品事業、加えて中国の大手エネルギーグループを中心とした石油業界向けに、各種機器・設備の販売、制御ソフトの提供、石油タンク・クリーニングサービスの提供、石油化学製品の製造・販売などをおこなう石油化学エンジニアリングサービス事業を展開しております。また、過去の積極的なM&A等により有利子負債が増加し、取得した海外子会社株式の減損損失の計上、資金繰り安定のために取得時より安く株式を売却したことによる売却損失の計上などを受け、業績が悪化している状況にあります。具体的には、ソフトウェア製品事業からの

撤退（S J メディカルの株式譲渡）、自社中国子会社によるオフショア・システム開発からの撤退（SinoCom、L D N S の株式譲渡）、石油化学エンジニアリングサービス事業からの撤退（L N D T の株式譲渡）などのグループ再編を実施しています。

ネクスGの既存事業の拡大や、今後の成長分野であるロボット関連分野、自動車テレマティクス分野、クラウドソーシング分野への積極展開をおこなうためには、ソフトウェア開発力の強化が必須となります。ネクスGは、ソフトウェア開発事業を積極展開するため、今まで西日本でのみ事業展開を行っていたネクス・ソリューションズに関東事業部を設立するなど、西日本エリアから全国展開に向けて準備をすすめておりましたが、人員の採用などを考慮すると短期間での規模の拡大は難しい状況でありました。そうした中で、SJIから平成27年2月頃に資本・業務提携の提案を受け、協議を続けてきました。

ネクスGはSJIの顧客アカウントやノウハウを共有する事で、双方の営業基盤を活用した営業促進の連携、新規製品の共同マーケティング、ソフトウェア等の共同開発及び共同研究、人材の相互交流などを実施し、両社の売上げの拡大と業務の効率化を図る事が可能と判断致しました。

また、ネクスGの成長に必要なソフトウェア開発力を十分に確保する事が可能となり、ネクスG全体の成長に大きく寄与すると考え、業務提携を行うことを決定しました。

また、ネクスGにとってSJI自体がもつ顧客アカウントと本来の売上のポテンシャルは非常に魅力的で、ネクスGとの事業シナジーにより、大きな収益改善をはかることが可能と考えました。

ソフトウェア開発では、1つの案件が終了すると、次の案件を開始するまでの期間、待機人員のアイドリングコストが発生いたします。その為、労働集約型のビジネスにも関わらず、大規模な人員増強をはかり積極的に展開をしていくといった戦略の選択が、通常では難しいという問題があります。

ネクスGはSJIを子会社化することで、このアイドリングコストを前述したグループ内の多数の開発に充てることができ、新たな収益への源泉とし、グループ全体として効率的な運営が行なえるため、積極的に拡大に向けた展開をおこなえます。

ネクスGは、SJIがネクス・ソリューションズとともに、システム開発事業を全国展開していくことと、ネクスGの今後の成長に必要なソフトウェア開発力を得ること、さらに業務シナジーによるSJIの収益改善がネクスGの企業価値の向上に寄与すると考え、SJIの業績改善及び財務体質の強化と業務提携の内容を早期に成就させることを目的として資本提携を行うことと致しました。

そのような環境下でSJIは、みずほ銀行からの借入金の弁済期日が平成27年1月30日に到来したものの、弁済することができず、借入に対して連帯保証をしていた株式会社SRA（以下「SRA」といいます。）が、同年4月21日に同行に対して保証債務の履行を行い、SRAはSJIに対し求償権を持つことになりました。当社は、SRAが保有するSJIに対する15億円の求償権を平成27年4月21日付で当社が15億円同額で譲受し、当社がSJIに対する求償権を保有することになりました。取引先への支払や運転資金などの喫緊の資金需要につきましては新株式の引受をおこない、財務体質の改善の過程で将来的に必要となる金融機関への返済資金についても、資金需要に応じて柔軟に対応をするため新株予約権の引受をおこなうことと致しました。

## 2. 業務資本提携の内容

### (1) 業務提携の内容

- ①双方の営業基盤を活用した営業促進の連携
- ②新製品の共同マーケティング
- ③ソフトウェア等の共同開発及び共同研究
- ④人材交流
- ⑤その他、当社グループ及びSJIの各事業分野における相互発展に寄与する協力

### (2) 資本提携の内容

ネクスGは、次の①②③の方法により、SJIの株式合計184,856,800株（③の新株予約権行使後におけるSJIの発行済株式総数の57.4%（議決権比率57.4%）。1株当たり取得価額35円、取得価額合計6,469,988,000円）を取得し、実質支配力基準によりSJIは当社及びネクスGの連結子会社となります。

①SRAからの求償権1,500,000,000円の譲受け

ネクスGは、SRAが保有するSJIに対する1,500,000,000円の求償権を平成27年4月21日付でネクスGが1,500,000,000円同額で譲受け、ネクスGがSJIに対する求償権を保有しています。

②新株発行の引き受け

ネクスGは、SJIが実施する第三者割当による新株発行99,142,800株（この新株発行後におけるSJIの発行済株式総数の47.7%（議決権比率47.8%）。1株当たり取得価額35円、取得価額計3,469,998,000円）を引受いたします。

尚、新株引き受け3,469,998,000円の内、①の1,500,000,000円をDES（デットエクイティスワップ）により取得をします。

③新株予約権の引き受け

ネクスGは、SJIが実施する第三者割当による新株予約権割当85,714個（85,714,000株）（この新株予約権行使後におけるSJIの発行済株式総数の26.6%（議決権比率26.6%）。1株当たり取得価額35円、取得価額計2,999,990,000円）の割当をうけます。

(3) ネクスGに対する貸付

ネクスGのSJIの第三者割当増資及び新株予約権の引き受け資金(約35億円)につきましては、ネクスGの手許資金の不足分については当社からの貸付(20億円)により充当をする予定です。貸付予定日は6月30日を予定しており、その他の条件につきましては協議中となります。

2. 異動する子会社（株式会社SJI）の概要（平成27年3月31日現在）

① 名 称	株式会社 SJI	
② 所 在 地	東京都品川区東品川四丁目12番8号	
③ 代表者の役職・氏名	代表取締役会長兼社長 石濱 人樹	
④ 事 業 内 容	情報サービス事業、石油化学エンジニアリングサービス事業	
⑥ 資 本 金	3,552百万円	
⑦ 設 立 年 月	平成元年7月	
⑧ 大株主及び持株比率	株式会社ノーザ 9.43% 株式会社SRAホールディングス 6.11% 株式会社SRA 6.05% EPSホールディングス 3.98% 日本証券金融株式会社 3.00%	
⑨ 当社との関係等	資 本 関 係	SJIはネクスGの子会社である株式会社ネクス・ソリューションズの株式を20%保有しております。

	取引関係	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ネクスGはSJIの15億円の求償権を保有しております。</li> <li>・平成26年1月31日付で株式会社ネクスGの子会社である株式会社ネクス・ソリューションズと会社分割(簡易吸収分割)契約を締結しております。</li> </ul>		
	人的関係	SJIへ2名出向者がおります。		
	関連当事者の概要状況	該当事項はありません。		
⑭	最近3年間の経営成績及び財政状態(連結)			(単位:百万円)
	決算期	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
	売上高	29,305	26,276	30,265
	営業利益	2,152	△805	262
	経常利益	1,876	△1,722	175
	当期純利益	△959	△6,714	△2,932
	1株当たり当期純利益	△11.62	△81.30	△44.27
	1株当たり配当金	-	-	-
	純資産	20,419	14,301	7,334
	総資産	45,103	39,360	30,135
	1株当たり純資産	129.26	56.19	30.26

### 3. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

① 異動前の所有株式数	<ul style="list-style-type: none"> <li>一株(議決権の数:一個)</li> <li>(所有議決権割合:-%)</li> </ul>
② 取得株式数	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新株式 99,142,800株(議決権の数:991,428)</li> <li>(新株式の割当後の発行済株式総数に対する割合:47.79%)</li> <li>・新株予約権 85,714個</li> <li>(その目的となる株式85,714,000株(議決権の数:857,140))</li> <li>(新株式の割当後、発行済み新株予約権が全て行使された際の発行済株式総数に対する割合:57.42%)</li> </ul>
③ 取得価額	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新株式 3,469,998,000円(1株当たり取得価額35円)</li> <li>・新株予約権 2,999,990,000円(1株当たり取得価額35円)</li> </ul>
④ 異動後の所有株式数	<ul style="list-style-type: none"> <li>99,142,800株(議決権の数:991,428個)</li> <li>(発行済み新株予約権が全て行使された際の所有株式数は184,856,800株(議決権の数:1,848,568個))</li> <li>(所有議決権割合:47.79%)</li> </ul>

※ 上記はすべて間接所有割合となります。

### 4. 日程

本資本業務提携契約締結日	平成27年6月1日
株式会社SJI定時株主総会	平成27年6月29日(予定)
払込期日	平成27年6月30日(予定)

5. 今後の業績に与える影響

ネクスGのSJIの第三者割当増資の引受けに伴い、ネクスGはSJIの普通株式99,142,800株（本第三者割当増資後の所有議決権割合47.79%）を取得し、ネクスGよりSJIに対して取締役3名、と、ネクスGが推薦する取締役2名を派遣致します。これに伴い実質支配力基準によりSJIは当社及びネクスGの連結子会社となる予定です。本件が当社の連結業績に与える影響については精査中であり、判明次第速やかにお知らせいたします。

以上